

第16回宇宙開発委員会（定例会議）  
議事次第

1. 日時 平成6年10月19日（水）  
14:00～16:00
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について  
(2) 平成6年度外国人招へいについて
4. 資料 委16-1 第15回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）  
委16-2 平成6年度宇宙開発委員会外国人招へいについて

第 15 回宇宙開発委員会（定例会議）  
議事要旨（案）

1. 日時 平成 6 年 10 月 12 日（水）  
14:00～14:15
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について  
(2) H-II ロケット試験機 3 号機による宇宙実験・観測フリーフライヤ及び静止気象衛星 5 号の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について
4. 資料 委 15-1 第 14 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）  
委 15-2 H-II ロケット試験機 3 号機による宇宙実験・観測フリーフライヤ及び静止気象衛星 5 号の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について（案）

5. 出席者
- |              |         |
|--------------|---------|
| 宇宙開発委員会委員長代理 | 野 村 民 也 |
| 宇宙開発委員会委員    | 内 田 勇 夫 |
| 〃            | 山 口 開 生 |
| 〃            | 末 松 安 晴 |

- 関係省庁
- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 通商産業省機械情報産業局次長     | 広 瀬 勝 貞（代理） |
| 運輸省運輸政策局次長         | 相 原 力 〃     |
| 運輸省気象庁総務部長         | 大 辻 嘉 郎 〃   |
| 郵政大臣官房審議官（通信政策局担当） | 岡 井 元 〃     |

- 事務局
- |                  |         |
|------------------|---------|
| 科学技術庁長官官房審議官     | 宮 林 正 恭 |
| 科学技術庁研究開発局宇宙国際課長 | 植 田 秀 史 |

他

6. 議事
- (1) 前回議事要旨の確認について  
第 14 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 15-1）が確認された。
- (2) H-II ロケット試験機 3 号機による宇宙実験・観測フリーフライヤ及び静止気象衛星 5 号の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について  
事務局より資料委 15-2 に基づき説明が行われた後、原案どおり決定

された。

平成6年度宇宙開発委員会外国人招へいについて（案）

平成6年10月19日  
宇宙開発委員会  
決 定

平成6年度における宇宙開発委員会外国人招へいとして、下記の1名を平成6年10月30日から11月3日の間（5日間）招へいすることとする。

記

氏名； Prof. Dr. Ir. Harsono Wiryosumarto

所属； インドネシア国立航空宇宙研究所（LAPAN）

役職； Chairman（総裁）

## 招へい理由

平成6年10月31日(月)から11月2日(水)まで、東京のホテルニューオータニにおいて、第2回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-2)を、科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所の主催において開催する。

同会議は、平成4年11月に開催されたアジア太平洋国際宇宙年会議において、当該地域における宇宙活動に係る協力の重要性が認識されたことに基づき、国際宇宙年の終了後においても継続的にアジア太平洋地域の宇宙機関による意見交換の場を設けることが提唱されたことを受けたものである。平成5年9月に、東京において第1回会議が開催された。

今回招へいを予定しているHarsono Wiryosumarto氏は、APRSAF-2においては、特に基調講演を行う予定であり、同会議の参加者中、殊に枢要の役割を担うことが期待されている。

また、氏はインドネシア国立航空宇宙研究所(LAPAN)の総裁として同国の宇宙開発、宇宙利用についての最高責任者の地位にある。同国とわが国は、最近JERS-1の利用取極の締結などを通じ、その連携をより密にしているところである。また、氏はアジア有数の宇宙機関の長として、アジア太平洋地域における宇宙協力活動に関して強い影響力を有しているところである。これを機に氏と宇宙開発委員会との意見交換を行うことは、今後のわが国のアジア太平洋地域における宇宙協力活動の推進にとって極めて有意義であると考えられる。

招へい者滞在日程（案）

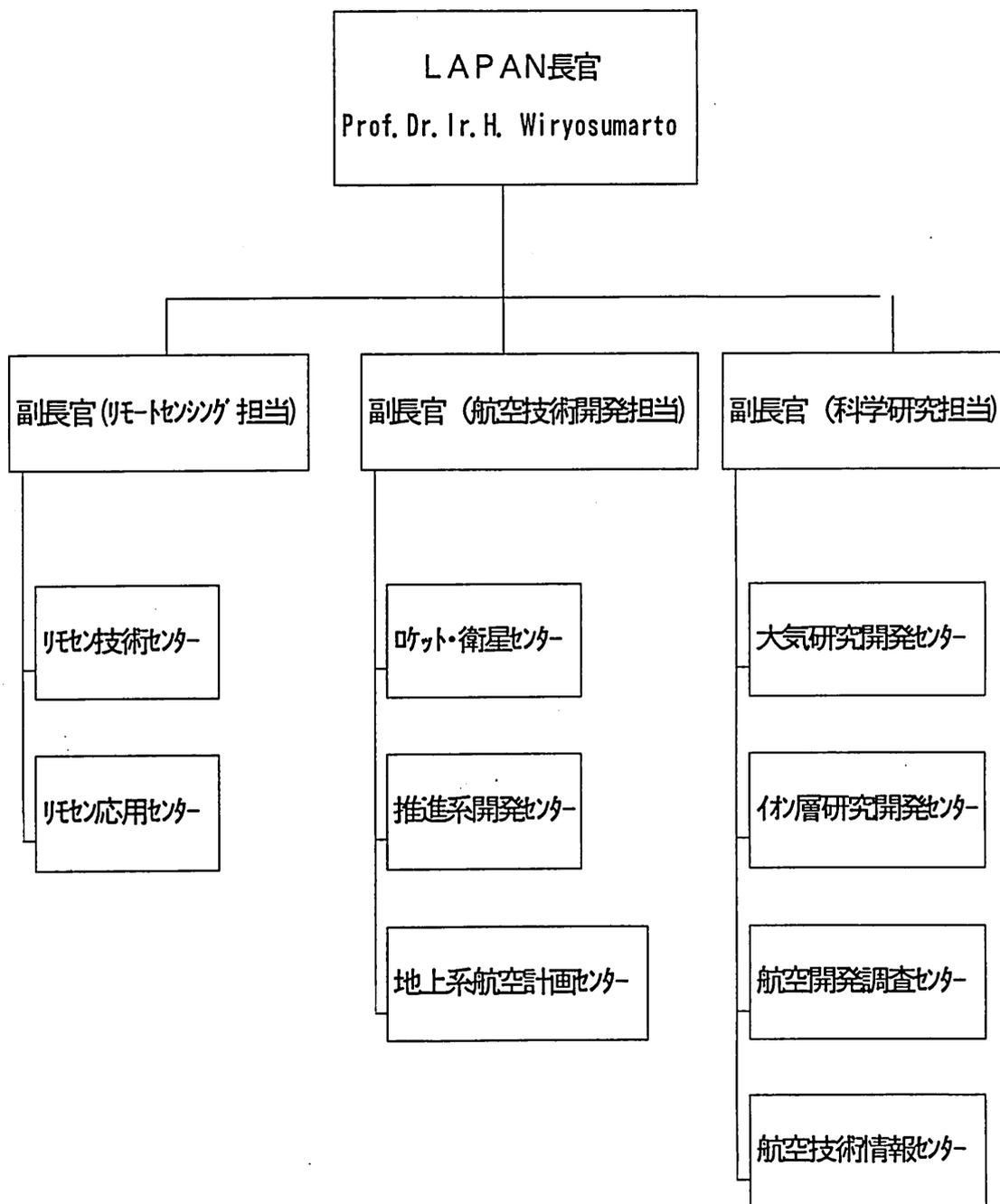
- 10月30日（日） 成田空港着
- 10月31日（月） APRSAF-2参加  
同レセプション参加
- 11月1日（火） APRSAF-2参加
- 11月2日（水） （APRSAF-2 施設見学会）  
宇宙開発委員会との意見交換（予定）
- 11月3日（木） 成田空港発

\*宇宙開発委員会との意見交換については、11月2日午後の宇宙開発委員会懇談会の場を予定しているが、今後招へい者と調整予定。

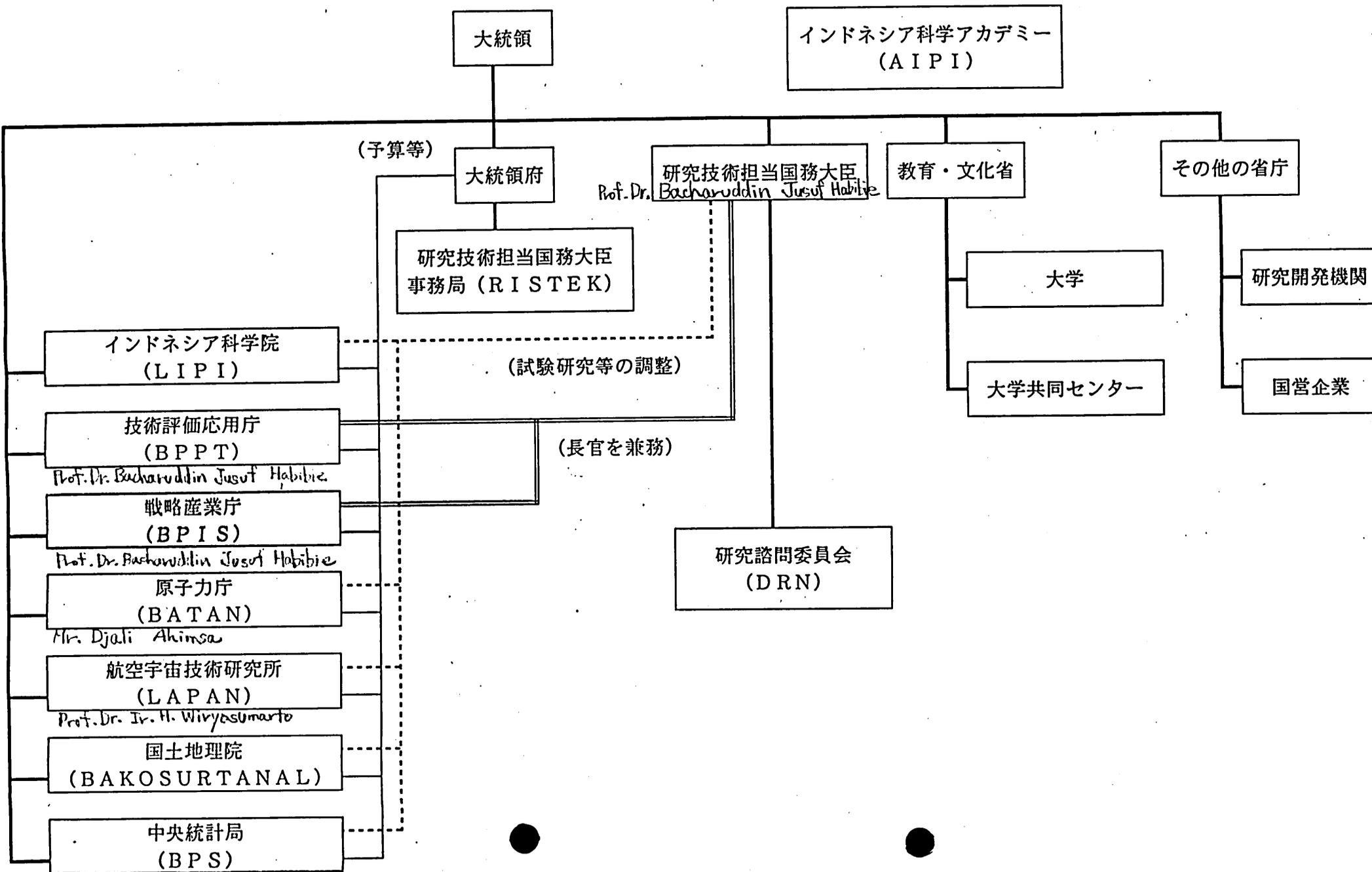
## 招聘者略歴

1. 氏名： ハルソノ・ウィリョスマルト
2. 性別： 男
3. 生年月日： 1935年2月5日
4. 所属機関： インドネシア国立航空宇宙研究所 (LAPAN)
5. 現在の地位： 同研究所所長
6. 学歴： 1959年 バンドン工科大学機械課卒業  
1963年 米国ケンタッキー大学で理学修士号を取得  
1973年 同大学で工学修士号を取得
7. 職歴： 1959-現在 バンドン工科大学で教授職  
1979-現在 IPTN (インドネシア航空産業企業) の社長付き参与  
1984-現在 DRN (国家研究委員会) のメンバー  
1991-現在 LAPAN長官

# LAPAN組織図



# インドネシアの科学技術関連行政組織



(参考)

## 第2回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-2) について

### 1. 経緯

92年に我が国で開催された「アジア・太平洋国際宇宙年会議」(主催; STA、NASDA、文部省宇宙科学研究所、日本国際宇宙年協議会)において、同会議後も引き続きアジア太平洋地域宇宙機関の意見交換の場が必要である旨指摘された。

これを受けて93年9月9日～10日に、STA、NASDA、文部省宇宙科学研究所の主催により第1回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-1) が東京で開催された。

なお、この際、第2回会議を94年に同じく東京で開催する旨で合意された。

### 2. 会議の目的

- ・アジア太平洋地域の宇宙機関及び国際組織の代表による宇宙開発政策等についての意見交換
- ・アジア太平洋地域における宇宙分野の協力のための共通関心分野の検討 など

### 3. 今回会議の概要

#### (1) 開催日程

94年10月31日～11月2日 (10月31日夕刻よりレセプション)

\*但し、11月2日は終日、関係施設の見学会などを予定。

#### (2) 開催場所

ホテルニューオータニ

#### (3) 参加者

アジア太平洋地域の宇宙機関の幹部等

\*別紙 「APRSAF-2 参加者リスト」 参照

#### (4) 議事予定

- ・各国の宇宙開発政策等についてのプレゼンテーション
- ・宇宙開発関連の個別テーマについてのディスカッション など

## APRS AF-2 参加者リスト

各国の参加予定者は以下のとおり。(10月11日現在)

なお、日本からの参加者については現在調整中。

Australia	Dr. John S. Boyd Deputy Executive Director, Australian Space office
Bangladesh	Dr. A. A. Ziauddin Ahmad Chairman, Bangladesh Space Research and Remote Sensing Organization
Canada	Mr. Michel Giroux Director, External Relations Division, Canadian Space Agency
China	Mr. Baozhu Guo Deputy Director general, China National Space Administration  Prof. Hui Yongzheng Vice chairman, State Science and technology Commission of China
Indonesia	Prof. Harsono Wiryo Sumarto Chairman, National Institute of Aeronautics and Space
Japan	(T. B. D.)
Korea	Prof. Soon Dal Choi Director, satellite Technology Research Center, Korea Advanced Institute of Science and technology  Mr. Seung Ri Lee Head, Policy and Planning Dept., Korea Aerospace Research Institute
Malaysia	Mr. Nik Nasruddin Mahmood Director, Malaysian Centre for Remote Sensing
Mongolia	Dr. Badarch Mendbayarin Director, National Remote Sensing Centre of Mongolia
Nepal	Mr. Shree Gopal Jha Director, Forest Survey Division, Forest Research & Survey Center
Pakistan	Mr. Sikandar Zaman Chairman, Pakistan Space & Upper Atmosphere Research Commission
Philippines	Mr. Ricardo Martinez Umali Undersecretary for Natural Resource Management dep. of Environment & Natural Resources
Russia	Mr. Alexander Ivanovich Medvedchikov Deputy Director General, Russian Space Agency
Singapore	Prof. Yean Joo Chong National University of Singapore
Sri Lanka	Mr. H. S. P. De Alwis Deputy Director, Arthur C. Clarke Center for Modern Technologies
Thailand	Dr. Suvit Vibulsresth D. ENG Deputy Secretary, National Research Council of Thailand
Viet Nam	Prof. Nguyen Van Hieu President, National Center for National Science and Technology
(国際機関など)	
ESCAP	Dr. He Changchui Officer Coordinator, ESCAP Regional Remote Sensing Programme
ISU	Dr. Roland Dore President, International Space University